

報道関係者各位

老舗木版画工房監修 書籍「紙と暮らす京の一年」発刊

1891年創業、京都の老舗・竹中木版 竹笹堂監修のもと、日本人の暮らしに寄り添う美しい「紙」を通して、昔ながらの暮らしが息づく京都の一年を追いました。



憧れの京都暮らしを気軽に取り入れられる職人手摺りの木版和紙で作る小物レシピア、伝統的な技法で新しいデザインを表現した竹笹堂の図版ギャラリーなど、実用的でありながら、眺めるのも楽しい一冊。竹笹堂ファンだけでなく、京都ファンや工芸が好きな方など幅広い世代に楽しんで頂ける内容です。

京都の写真家・中島光行氏のしっとりとした美しい写真と、京都で町家暮らしを実践する文筆家・内藤恭子氏の生き生きとした文章でお届けします。作り手の顔が見える工房紹介のページもございますので木版和紙をより身近に感じて頂ければ嬉しいかぎりです。

■ contents

《目次》

1. 紙と暮らす京の歳時記
2. 紙と暮らす素敵なアイデア
3. 素敵な人の紙との暮らし方
4. 竹笹堂図版ギャラリー
5. 竹笹堂 工房を訪ねて
6. 木版の道具箱
7. 暮らしに息づく木版
8. こんなところにも竹笹堂



《概要》

- 書籍「竹中木版 竹笹堂 紙と暮らす京の一年」
- 監 修／竹中木版 竹笹堂
- 著 者／内藤恭子
- 写 真／中島光行
- 価 格／1,500 円（税抜き）
- 判 型／A5 変型 全編カラー 143 ページ
- 発売日／2014 年 12 月 3 日
- 発 行／宝島社



■ 竹笹堂について

創業120余年、現代では希少となった京版画と浮世絵の技術を継承する。老舗の掛け紙や料紙などを制作する一方、オリジナル作品の制作・販売を行う。また、木版技術を守り伝えるためワークショップの開催や学術的な研究活動にも取り組んでいる。